

『がん看護』第27巻6号 サポート情報

2023年1月
株式会社 南江堂

「がん看護」第27巻6号について、以下の通り情報を補足いたします。

◎p.590 「がん治療が性機能に与える影響」について

本項目の解説内容に関わる、主な治療法によるセクシュアリティへの影響を示した表「がん治療が女性の性/生殖機能に与える影響」を以下にご案内いたします。

表 がん治療が女性の性/生殖機能に与える影響

がん治療	身体的・精神的影響	性に関する影響
手術療法		
乳房切除術	乳房喪失	乳房喪失感
乳房部分切除術	胸や上腕の知覚の変化 乳頭のずれ、乳房の変形	ボディイメージの変化 きずに触れられることへの恐怖心 性生活への消極化
広汎子宮全摘術	膣が短くなる	性交疼痛 挿入障害
両側卵巣切除	卵巣機能喪失 膣粘膜萎縮 閉経関連尿路生殖器症候群 (GSM)	妊孕性の喪失
薬物療法		
抗がん薬治療	卵巣機能抑制	妊孕性の低下 月経の消失
ホルモン療法	エストロゲン欠落症状 閉経関連尿路生殖器症候群 (GSM)	性欲の低下 性交疼痛 性感染症
放射線治療		
乳房照射	皮膚炎・乾燥・色素沈着 胸や上腕の知覚の変化	ボディイメージの変化 きずに触れられることへの恐怖心
子宮頸部、卵巣、膀胱、大腸、膣など骨盤内の臓器への照射	膣粘膜の萎縮、狭窄	性交疼痛 挿入障害
その他	造血幹細胞移植後慢性GVHD (移植片対宿主病) 倦怠感 脱毛 ストーマ造設 リンパ浮腫	膣粘膜の炎症、狭窄 性欲の低下 ボディイメージの変化 性生活への消極化